

## 新プロジェクト始動！ —富山県五箇山集落 & 静岡県静岡市清水区—

### New projects ! —Gokayama(Toyama Pref.)&Shimizu(Shizuoka pref.)—

今年度の第1号は、研究室の活動に新たに加わる2つのプロジェクトの紹介から。五箇山では早速新M1を中心に現地調査を行ないました。これから始まる清水と共に、新たな地でのメンバーの活躍に期待です！

2 new projects started this spring.



五箇山 Gokayama

▲まだまだ雪深い合掌集落

M1 大森 文彦

3月の28日から29日にかけて、富山県南砺市の世界遺産五箇山集落マスタープラン作成のための調査に行きました。メンバーは永瀬助教、D1の森さん、M1の浅野、大森です。まだ雪が3m近く残る山深い合掌造りの集落群は、質素ながらも幻想的で、厳しい気候の中での生活の知恵と機能が凝縮されていると感じました。

調査は関係者へのヒアリングが中心でした。様々な主体が五箇山の将来について考えながらも、意見の統一や話し合いの場が持たれていない現状が浮き彫りとなり、また山間の集落として普遍的な高齢化や人口減少といった問題とも無縁ではありません。しかしその分、非常にやりがいのあるPJであると感じました。



▲民宿にてご主人にヒアリング



清水 Shimizu

▲清水港日の出埠頭に残る石造倉庫群

黒瀬 助教

清水は、巴川河口を中心とした港町で古くはお茶の輸出港として栄え、戦後は工業製品の輸出と天然資源の輸入を中心として発展してきました。現在、コンテナターミナルが外港へ移転を開始しており、これまで港の中心であった内港は、これから大きく土地利用が転換することが見込まれています。

プロジェクトの対象は、この内港を中心とするエリア。中心市街地に隣接しており、JR清水駅や静岡鉄道新清水駅からも徒歩圏内。三保の松原などの景勝地、歴史的な倉庫群や貯木場跡地などの産業遺産など、多様な資源を活かしつつ、周辺地域も含めた清水港の将来像を、住民や地権者の方々と一緒に考えていく予定です。

今年度スタートの新プロジェクトなので、資源調査から提案まで、フレッシュなメンバーで頑張りましょう。

## 旅立ち、新たなステージへ！ Happy graduation!

別れと旅立ちの3月。震災の影響を考慮し、今年は11号館ラウンジにて行なわれた追い出しコンパにて、12名の都市デザイン研究室メンバーを送り出しました。



▲M1からプレゼントのTシャツで！

去る3月24日、研究室をご卒業される諸先輩方、ご栄転される阿部先生の追い出しコンパが行なわれました。震災の影響もありドタバタの中での開催となりましたが、それでもお忙しい中ご都合をつけて下さり、およそ30名もの方が参加されました。手作りデザインのTシャツやロゴ入り写真立て、スライドショーなど、様々なイベントで大盛況に終わったのではと思います。コンパを通して、改めてお世話になった感謝の想い

を抱くと共に、研究やプロジェクトに懸けた皆さんの情熱に気付かされた一日でした。改めてご卒業、ご栄転本当におめでとうございます。旅立たれた先でのますますのご活躍をお祈りいたします。

三次会まで盛り上がりました！



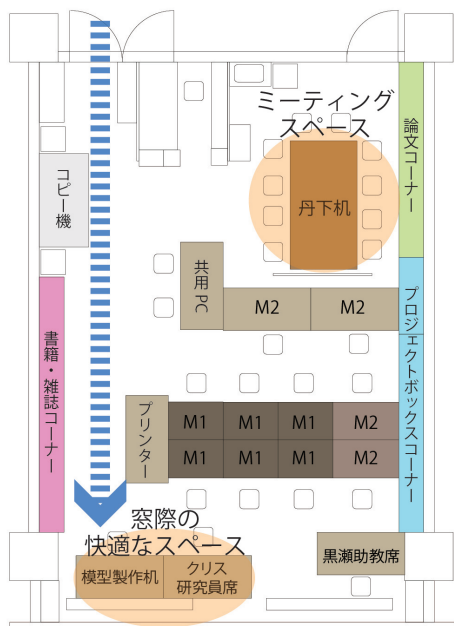
M2 山重 徹

# 研究室再開発 9階 ver!

regeneration of the lab room at 9th floor.

10階に引き続き、ついに9階にも着手！広いスペースが創出され新M1のための環境も整いました。

抜ける視線



▲9階 PLAN：丹下机も新たな配置に！

先日の10階に続き、研究室再開発もいよいよ9階に着手しました。クリアランス+新市街地が広がる10階に対し、9階は既存のストックをいかに活用するか、という点に苦心しました。その結果、活発なコミュニケーションの創出を図る為、「①パーティションを取り払い、開放性を高める。②共有スペースの領域性を取り戻し、ミーティングに集中できる「場」をつくる」という結論に行き着きました。今年度は10階9階ともに近年稀に見る大改装を行いました。学生一同この環境をベースに研究にプロジェクトに多い励んでくれる事を祈ります。

text\_yabuki



▲仕切りをなくし活発なコミュニケーションを生む！



▲現在の10階の様子。そこには営みが・・・！

## プロジェクト報告



2010年夏から開始した活動の集大成として、活動報告会を行なった高山PJからの報告です。

M2 高見 亮介

4月2日から3日にかけて、高山市荘川地域へプロジェクトの報告会に行っていました。

報告会では今年度のプロジェクトの集大成として「高山市一色惣則地域マネジメント計画」について発表しました。立派な文化ホールで約60名の聴衆の前での発表はこれまでにない、非常に貴重な経験になりました。一色惣則集落の住民の方々だけでなく、高山市内、さらに飛騨市、南砺市、白川村など周辺市町村からも数多くの方々に来場して頂き、質疑応答では住民の方による新たなアイデアの提案やどうやって実行していくのかなどについて意見が交換され、活発な議論となりました。

最後に、大学院の修了式後に関わらず報告書作成にお手伝い頂いた、旧M2の黒川さん、阿部さん、大熊さん、櫻庭さんには深く感謝しております。本当にありがとうございました！



▲OB 平野さんも来ていただきました



▲来場者の方とも活発に意見を交わす

## 2011年度 新編集長就任。

This year's Lab magazine team start!

都市デザイン研究室マガジンも発行7年目を迎えます。今年度はプロジェクトも2つ増え、研究室の活動はより忙しく、活発なものとなるでしょう。

そういった都市デザイン研究室の熱い「今」を随時御届けしながら、主張ある記事作りをしていきたいと考えております。また、伝統を受け継ぎながら、昨年度から始めた新しいメディアの活用も積極的に使い世界に開かれた「Urban Design Laboratory」の発信も行っていく所存であります。

今年度は震災の影響で新学期が一ヶ月遅れた為、まだ新編集メンバーは決まっておりませんが、編集部一同、定期発行を死守しながら頑張りますので、本年度も御協力、御愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

第七代マガジン編集長  
矢吹 剣一



## 建築学会まちづくり展



この度の震災を受け「復興の手がかりと希望の芽をさぐり、それを多くの人々と共有する」連続WSやパネル展等が開催されます。

2011年4月12日～22日 @建築博物館・ギャラリー  
<http://new-sv.ajio.r.jp/shien/s1/>

4月の予定

4月15日 2011年度第1回研究会議 @144 講義室 16:00-18:00

## 編集後記

前川 綾音

4月になりました。一年間がものすごく早かったと感じている今日この頃です。新M1のみなさんも研究室にやってきて、早速コンベ等にぎやかにやっている様子を見ると非常にフレッシュで、新年度なんだなあとしみじみするとともに、わたしもうかうかしてられないなあとしみじみします。今年も、様々なものを吸収し学生最後の一年間を満喫したいと決意を新たに、マガジンでもさらに面白い記事を書いていけたらと思います。今年度も都市デザイン研究室マガジンをよろしくお願ひ致します！